

平成16年度

第1回理事会 議事録

1. 会議名 平成16年度「第1回理事会」
2. 日時 平成16年4月26日(月) 17時00分～20時45分
3. 場所 社団法人 日本新体操連盟・事務局(東京都港区西麻布3-22-9)
4. 出席者 二木英徳(会長)、朝倉正昭(副会長)、荒井隆、(専務理事)、
福本隆(常務理事)、渡辺守成(常務理事)、石崎朔子(常務理事)、
山崎浩子(理事)、藤島八重子(理事)、橋本千波(理事)、
岩本晃(理事)、崇島慎一(理事)、池田真喜子(理事)、

欠席者 高橋明(副会長)、岡久留実(理事)、秋山エリカ(理事)、上村郁子(理事)、
谷原誠(理事)、田中元(監事) 横田章(監事)

以上7名委任状提出
5. 会長挨拶 今年度に入って第1回目の理事会開催を宣言し、進行に荒井専務理事を任命した。
6. 議長 社団法人 日本新体操連盟・定款第24条第2項により議長は二木英徳会長が勤めた。
7. 議事録署名人決定
議長は、議場に諮り、山崎理事、崇島理事を指名した。
8. 審議事項
第1号議案 **平成15年度総会について**
定款第26条関連事項(説明者: 渡辺守成常務理事)
総会提出資料と合わせて年度報告、年度計画を報告審議することが説明された。
 - 1 報告事項
 - (1) 平成15年度・登録クラブ報告
定款第6条関連事項(報告者: 渡辺守成常務理事)
平成15年度の登録クラブ数、選手数、指導者数、審判員数など加盟者の報告が行われ、総会の構成について確認した。

(2) 平成15年度・事業報告

定款第5条関連事項（報告者：渡辺守成理事）

- ・ 総会について文部科学省競技スポーツ課の指導に基づき年度内に次年度事業計画、予算承認の総会を1回、決算承認の総会を1回、合計2回の総会を開催することが確認、報告された。
- ・ 指導者の海外セミナーについて同行理事・福本隆理事より練習方法の良き点、今後のセミナーについての見解が報告された。
- ・ 「全日本新体操クラブ団体選手権」において今年度参加者が減少したことが報告され、参加基準の緩和を検討する事を確認した。
- ・ 指導者育成セミナーの受講者数が頭打ちになっている現状を報告し、講師の育成、指導者資格制度等セミナー制度再構築の検討をすることを確認した。

(3) 平成15年度・収支決算報告

定款39条関連事項（報告者：渡辺守成常務理事）

平成15年度の収支決算報告がなされ承認された。

2 決議事項

(1) 平成16年度・事業計画について

定款第38条関連事項（説明者：渡辺守成常務理事）

- ・ 事業計画4-1「全国競技会の開催」について
「全日本新体操クラブ選手権」において、山崎理事よりジュニア選手の国際競技会への派遣制度を設ける事が提案され、「世界新体操クラブ選手権」へジュニア選手上位3位までのエキシビジョン参加とシニア・ジュニア選手各上位3位までの海外選手権への派遣制度を設ける事で承認された。海外派遣の詳細については後日再度審議する事が確認された。
また、「全日本新体操クラブ選手権」が地方の大会と日程が同じであるため、地方大会予選を考慮しエントリー期日を例年より1ヶ月遅らせる事が承認された。
「全日本新体操クラブ団体選手権」において平成15年度大会で参加者数が減少したことを受け止め、平成16年度では系列クラブを持ち、選手数の問題で1クラブではチームが組めない場合に限り、系列クラブより合同で1チーム構成して参加できるエントリー緩和策が提案され承認された。
(財)日本体操協会主催の「全日本選手権」への出場資格について、平成16年度「全日本新体操クラブ団体選手権」が11月20日～21日開催に対して「全日本選手権」が11月4日～7日開催と日程的に出場が難しいため、平成16年度優勝チームと平成17年度優勝チームの平成17年度「全日本選手権」への出場資格について検討課題として残った。
「全日本新体操キッズコンテスト」において平成16年度より評価方法を変更し、参加者全員に何らかの評価をする方式が提案され承認された。詳細については後日提出することとなった。
- ・ 事業計画6-3「国際競技会への代表参加選手の選考・派遣」について
代表選手の選考基準を定め、国際大会への派遣を検討していくことを確認した。

- (2) 平成16年度・収支予算について
定款第38条関連項目（説明者：渡辺守成常務理事）
収支予算について説明が行われ承認された。

第2号議案 **イオンカップ 2006年度 イオンカップ世界新体操クラブ選手権・三重県誘致について**

定款第5条第4項関連事項（説明者：渡辺守成常務理事）

2009年度に世界新体操選手権の開催地として三重県が立候補している事、三重県が世界新体操選手権のプレ大会として2006年度開催予定の「イオンカップ 2006 世界新体操クラブ選手権」を招致したいとの連絡があった事を報告し、スポンサー関係などの問題が解決すれば開催に異論が無いことで承認となった。

第3号議案 **全日本新体操チャイルド選手権・ルール改正について**

定款第5条関連事項（説明者：山崎浩子理事）

5・6年生の部において現状のルールでは選手の強化につながらない旨の見解を説明し、ルールの変更を提案した。協議の結果、禁止事項を作り、事前に採点用紙を提出する事でルール変更が承認された。

第4号議案 **その他**

その他の事については審議されなかった。

9. 閉会 議長は、議場に諮り、報告事項、審議事項の終了を確認し、20時45分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成16年4月26日

平成16年度 第1回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 山 崎 浩 子

同 崇 島 慎 一